

議案第 47 号

地方財政の充実・強化に関する意見書案について

沼田市議会会議規則第 13 条第 2 項の規定により、上記議案を別紙のとおり提出します。

令和 8 年 6 月 12 日提出

沼田市議会議長 桑原敏彦 様

提出者 総務文教常任委員会 委員長 小野塚 正 樹

賛成者 同 副委員長 木 内 修 一

同 委 員 齋 藤 智

同 同 茂 木 清 七

同 同 戸 部 博

## 地方財政の充実・強化に関する意見書（案）

今、地方公共団体には、急激な少子・高齢化に伴う社会保障制度の整備、子育て施策、人口減少下における地域活性化対策はもとより、DXの推進、脱炭素化、物価高騰対策など、極めて多岐にわたる新たな役割が求められています。加えて、多発化する大規模災害への対応も求められる中、地域公共サービスを担う人員は圧倒的に不足しており、職場における疲弊感は日々深刻化しています。

政府はこれまで「骨太方針」に基づき、地方一般財源の前年度水準を確保する姿勢を示してきました。しかし、物価高騰や資材・労務費の上昇による行政コストの増大、更には慢性的な人員不足を踏まえると、今後も引き続き一般財源総額の確保が求められます。

2026年度地方財政計画は、物価高や人件費の増大に対応する内容となっていますが、2027年度政府予算及び地方財政の検討に当たっても、物価高騰や賃金上昇に伴う行政コストの増大を的確に反映し、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額の更なる充実が図られる地方財政を実現するよう求めます。

### 記

- 1 社会保障の充実、地域活性化、自治体DX、脱炭素化、物価高騰対策、教育の無償化、防災・減災、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視しつつ、現行の水準にとどまらない、より積極的な地方財源の確保・充実を求めます。
- 2 子育て支援、地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、高まりつつある社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫していることから、引き続き地方単独事業分も含めた、十分な社会保障経費の拡充を求めます。加えて、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組を十分に支える財政措置を求めます。
- 3 こうした課題には、地域間格差や職種間格差が影響していることも顕在化してきています。2027年度の給与改定に備え、教員を含めた十分な給与改定費等の措置を求めます。これと併せて、義務教育費の国庫負担金制度の地方への充実配分の検討及び会計年度任用職員の更なる処遇改善のため、十分な財政措置を求めます。
- 4 地方財政の充実や安定化を政府として検討する際は、地方財政を棄損することがないよう、あらかじめ「国と地方の協議の場」を活用するなどし、特段の配慮を行うとともに、地方財政への影響が想定される場合は、確実にその補填を行うよう求めます。
- 5 超高齢社会への対応及び、誰一人取り残さない社会の実現に向け、その存在意義が改めて重視されている地域公共交通について、公共交通専任担当者の確保を支援するとと

もに、こども・子育て政策と同様、普通交付税の個別算定項目に位置付け、一層の施策充実を求めます。

- 6 問題が顕在化、深刻化してきている自治体業務システムの標準化・共通化については、まず、無理や無駄の十分な検証作業を速やかに実施すること。その上で、この業務システムの抜本的な見直しを行い、これに伴う増額経費については、国の責任において必要な財源補填を求めます。

その際、具体的事項として、戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の法制化や、マイナンバーカードを基盤とした健康保険証・運転免許証との機能統合、自治体のサイバーセキュリティ対策強化など、自治体DXに伴うシステム改修や事務負担、人件費の増大が想定される際は、十分な財政支援を行うよう求めます。

- 7 地域医療の停滞を最小限に食い止める観点から、独立行政法人国立病院機構沼田病院廃止に伴う地元要望への十分な財政支援を講じることを強く求めます。

- 8 自治体を実施する事業において、急激な物価高騰や労務費の適切な価格転嫁が果たされるよう、補正予算による対応を含めて緊急な財政支援を行うことを求めます。

- 9 もはや人口減少問題は、国家の存立基盤の根幹を揺るがす重要課題となっています。

国の叡智の結集と、効果が表われている先進事例の全国展開を、国の責任において速やかに実施されることを強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和8年 月 日

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

総務大臣

様

厚生労働大臣

国土交通大臣

デジタル大臣

内閣府特命担当大臣（こども政策 少子化対策 若者活躍 男女共同参画 共生・共助）

沼田市議会議長 桑原敏彦